

■活動開始: 2021年10月

■企業ボランティアの人数(実数): 20名

■活動の背景:

リコーグループは、社会貢献の重点分野の一つに「はたらく人のインクルージョン」を掲げており、はたらくことに困難を抱える人の”はたらく”を支援する活動を行っています。デジタル社会の進展の一方で、若者世代でデジタル・デバイドが起きており、就労へのハードルが上がる要因になっていることやコロナ禍により若者の職が失われていることを踏まえ、リコーのリソースを活用し、若者の”はたらく”を支援するプログラムを実施することになりました。

■ボランティア活動内容:

本プログラムは、若者の就労支援を長く行っている認定特定非営利活動法人育て上げネットと連携し、企業とNPOの新しい協働スタイル、『ワークサンプル型就労支援』として、「働く自信をつけたい」という若者の悩みにアプローチしました。育て上げネットが募集した無業の若者に対して、画像制作の受注から納品までの業務を疑似的に体験できるスキルトレーニングを提供することで、働くことへの参画を後押ししています。

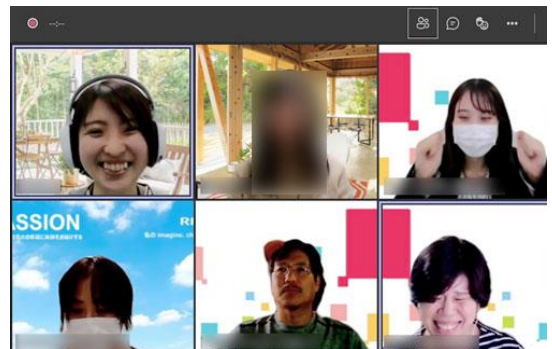
プログラムは以下の3つのセッションから構成され、20名のリコーグループ社員が自ら手を挙げ、業務時間内に自宅やオフィスからオンラインでプロボノとして参画しました。また、各セッションの内容は、育て上げネットのニーズやノウハウをもとに、プロボノ社員とも議論を重ね決定していききました。

(1)ワークプレイスの体験(対面):

リコージャパンが運営するワークスタイルの変革を体感するオフィス『ViCreA』を若者に訪問・体験してもらい、会社で働くイメージの醸成を目指しました。

(2)社員によるトークセッション(オンライン):

社員が、仕事上の体験談や失敗の乗り越え方を若者に伝え、働くことのイメージや、行動を起こしてみようと思うきっかけ作りを行いました。また、キャリアコンサル資格を持つ社員が希望者に個別の進路面談を実施しました。



(3)社員が使うオンライン会議背景画像の制作(オンライン):

社員のサポートを受けながら、若者がデジタルツールを使ったオンライン会議背景の画像制作に取り組みました。画像制作では、発注、見積り、制作、検査、納品等の一連のビジネス疑似体験を通して、スキルが習得できる内容にしました。

■活用されている企業のリソースや従業員のアイデア:

○リコージャパンがお客様にも紹介している Live Office 『ViCreA』を若者に体験してもらいました。

○社員が自身の仕事上の経験談やこれまでの経歴、失敗談などを若者に話しました。

○デザインの知識のある社員は、画像制作のデザインのアドバイスを実施し、人事の経験がある社員は、希望者に進路面談を実施するなど、社員の専門性を生かした活動を行いました。また、見積書作成講座では、「前提となる企画書作成もしてはどうか」というアイデアが社員から出て、社員が講師となり講義を行いました。

○制作する画像はグループ社員が誰でも使えるオンライン会議背景とすることで、より多くの社員が若者の支援

に携われる形としました。

■活動を通じて得られた成果:

参加した 22 名の若者からは、「疑似的な仕事体験や見積もり作成など勉強になった」、「恐れずに挑戦することの大切さなど社員の生の声が聞けてよかった」、「デザインをしている社員から話を聞けて貴重だった」など、



就労に向けて後押しとなったことを確認できています。プログラム実施後、他のスキル獲得講座への参加や就職活動の開始など、就労に向けて、次のステージに移行できた若者もいます。

また、参加した社員からも、「若者や他のプロボノ社員と取り組んだことで刺激を受けた」、「自分の話が若者の役に立っていると思うと嬉しかった」などの声があり、社員にとっても価値ある経験となりました。

第7回企業ボランティア・アワード「ユースサポート」奨励賞